

市本庁舎火災発生後の対応状況と今後の予定

火災発生から復旧に向けて、段階的に作業を進めています。 **問合せ** ファシリティマネジメント推進課

時期	内容	主な取組み
令和7年5月	火災発生	
令和7年 7月～10月	火災発生場所などの がれきの撤去	焼損・水損した建材や設備などがれきを撤去し、安全確保と復旧に向けた環境を整備しました。
令和7年8月 ～ 令和8年1月	庁舎の安全確認の ための火害調査	建物(庁舎)の火害状況や安全性を確認するため、専門業者による各種調査を実施しました。 また、調査結果を第三者機関に諮り、改修することで、継続して建物の利用が可能であることを確認しました。
令和8年 1月～3月	職員立ち入りのための 火災後清掃業務	職員が安全に立ち入れるように、専門業者による清掃を実施し、環境整備を実施しました。
令和8年 5月～6月	職員による搬出作業	机上、引出し内、棚上などに残されていた書類や書籍などの搬出を実施し、蓮田白岡衛生組合の協力を得て、一部ごみを搬出しました。

今後の予定

改修工事に係る設計業務委託や什器類の搬出など、改修工事に向けて準備を進めています。

令和8年

令和9年

令和10年

令和11年

改修設計
令和8年2月～令和10年1月

入札手続き

改修工事
令和10年4月～令和11年9月

開庁
令和11年9月以降

今後も進捗状況をお知らせしながら、庁舎の復旧に取り組んでまいります。

市本庁舎復旧・復興基本計画を策定しました

基本計画は、「市本庁舎復旧・復興基本方針」の5項目をもとに、本庁舎の機能や性能、配置、事業スケジュールなどを示す基本計画を策定しました。

策定に当たっては、中堅職員で構成された「本庁舎整備プロジェクトチーム」からの意見を踏まえ、計画づくりを進めました。



▲詳細はこちら

基本方針1

市民の利便性の向上や協働空間を提供する庁舎

- ◆窓口の見直し、適正化(分かりやすい案内表示など)
- ◆相談機能の充実(相談スペースや個別相談室の整備など)
- ◆誰でも利用しやすいオープンスペースを設計
- ◆休憩スペースやキッズスペースの整備



窓口イメージ

基本方針2

誰にでもやさしいユニバーサルデザインの庁舎

- ◆ユニバーサルデザインの導入(段差の少ない歩行空間の確保など)
- ◆来庁者の移動・アクセス支援(歩車分離やスロープ設置など)



案内イメージ

基本方針3

安全・安心を支える防災機能が充実した庁舎

- ◆高い耐震性能を踏まえた改修
- ◆災害対策機能の充実
- ◆災害時の業務継続体制の整備(非常用電源や蓄電池の設置)
- ◆火災対策の強化



非常用発電機イメージ

基本方針4

機能的で効率的な行政機能を実現する庁舎

- ◆フリーアドレスやオープンスペースの導入
- ◆テレワーク環境の整備
- ◆会議室や打合せスペースの最適化
- ◆内部事務のデジタル化



執務スペースイメージ

基本方針5

環境にやさしくランニングコストを配慮した庁舎

- ◆再生可能エネルギーの活用(太陽光パネルや蓄電池の設置)
- ◆維持管理コストの削減(LED照明や複層ガラスの導入)



太陽光パネル設置イメージ

新庁舎のフロア構成

- ▶ 4階：議会フロア・会議室
- ▶ 3階：中枢機能・執務空間
- ▶ 2階：執務空間
- ▶ 1階：執務空間・共用スペース

問合せ 企画政策課